

CASBEE\_Sapporo2014v1.2  
(仮称)FAC-宮の森3-10MS

■使用評価マニュアル: CASBEE\_Sapporo2014v1.2  
■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート	基本設計段階				重点評価項目					建物全体・共用部分	住居・宿泊部分	全体				
	重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄											
	A	B	C	D	評価点	重み係数	評価点	重み係数								
Q 建築物の環境品質												2.7				
Q1 室内環境												2.8				
1 音環境												3.3				
1.1 騒音												3.0	0.15	3.4	1.00	3.3
1.2 遮音												3.0	0.50	3.0	0.50	
1 開口部遮音性能												3.0	1.00	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能												-	-	4.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)												-	-	4.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)												-	-	5.0	0.20	
1.3 吸音												3.4	-	3.0	-	
2 温熱環境												1.3	0.35	3.2	1.00	2.6
2.1 室温制御												1.7	0.50	4.2	0.50	
1 室温												1.0	0.63	5.0	0.63	
2 外皮性能												3.0	0.38	3.0	0.38	
3 ゾーン別制御性												-	-	-	-	
2.2 湿度制御												1.0	0.20	4.0	0.20	
2.3 空調方式												1.0	0.30	1.0	0.30	
3 光・視環境												2.9	0.25	2.6	1.00	2.6
3.1 昼光利用												3.0	0.30	3.0	0.30	
1 昼光率												3.0	0.60	3.0	0.50	
2 方位別開口												-	-	3.0	0.30	
3 昼光利用設備												3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策												1.0	0.30	1.0	0.30	
1 昼光制御												1.0	1.00	1.0	1.00	
2 眩り防止対策												-	-	-	-	
3.3 照度												3.0	0.15	1.0	0.15	
3.4 照明制御												5.0	0.25	5.0	0.25	
4 空気質環境												3.0	0.25	2.7	1.00	2.8
4.1 発生源対策												3.0	0.60	3.0	0.63	
1 化学汚染物質												3.0	1.00	3.0	1.00	
2 気体汚染物質												-	-	-	-	
4.2 換気												3.0	0.40	2.3	0.38	
1 換気量												-	-	3.0	0.33	
2 自然換気性能												-	-	1.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮												3.0	1.00	3.0	0.33	
4.3 運用管理												-	-	-	-	
1 CO <sub>2</sub> の監視												-	-	-	-	
2 喫煙の制御												-	-	-	-	
Q2 サービス性能												-	0.30	-	-	2.5
1 機能性												2.0	0.40	3.2	1.00	2.8
1.1 機能性・使いやすさ												-	-	4.0	0.60	
1 広さ・収納性												-	-	4.0	1.00	
2 高度情報通信設備対応												-	-	-	-	
3 バリアフリー計画												-	-	-	-	
1.2 心理性・快適性												1.0	0.50	2.0	0.40	
1 広さ感・景観												-	-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース												-	-	-	-	
3 内装計画												1.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理												3.0	0.50	-	-	
1 維持管理に配慮した設計												2.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保												4.0	0.50	-	-	
3 劣化防止対策												-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性												2.6	0.30	-	-	2.6
2.1 耐震・免震												3.0	0.50	-	-	
1 耐震性												3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能												3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数												3.0	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数												3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔												3.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔												3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔												3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔												3.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔												3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性												1.0	0.20	-	-	
1 空調・換気設備												1.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備												1.0	0.20	-	-	
3 電気設備												1.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法												1.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備												1.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性												2.8	0.30	1.7	1.00	2.0
3.1 空間のゆとり												-	-	1.4	0.50	
1 階高のゆとり												-	-	1.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ												-	-	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり												-	-	2.0	0.50	
3.3 設備の更新性												2.8	1.00	-	-	
1 空調配管の更新性												1.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性												2.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性												3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性												3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性												5.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保												3.0	0.20	-	-	

CASBEE\_Sapporo2014v1.2  
(仮称)FAC-宮の森3-10MS

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE\_Sapporo2014v1.2  
■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

スコアシート	重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	A	B	C	D		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>						-	0.30	-	-	2.8
1 生物環境の保全と創出			C			2.0	0.30		-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			C			4.0	0.40		-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮						2.0	0.30		-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				D		2.0	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		B	C			2.0	0.50		-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>						-	-	-	-	2.6
<b>LR1 エネルギー</b>						-	0.40	-	-	2.7
1 建物外皮の熱負荷抑制	A					2.0	0.20		-	2.0
2 自然エネルギー利用	A					2.0	0.10		-	2.0
3 設備システムの高効率化					BEI 非住宅 - 住宅(専有部) 1.16	3.1	0.50		-	3.1
集合住宅以外の評価(3a.3b)	A					3.1	-		-	
集合住宅の評価(3c)	A					3.1	1.00		-	
4 効率的運用						3.0	0.20		-	3.0
集合住宅以外の評価						-	-		-	
4.1 モニタリング	A					-	-		-	
4.2 運用管理体制	A					-	-		-	
集合住宅の評価						3.0	1.00		-	
4.1 モニタリング	A					3.0	0.50		-	
4.2 運用管理体制	A					3.0	0.50		-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>						-	0.30	-	-	2.4
1 水資源保護						2.2	0.20		-	2.2
1.1 節水						1.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用						3.0	0.60		-	
1 雨水利用システム導入の有無						3.0	0.70		-	
2 雑排水等利用システム導入の有無						3.0	0.30		-	
2 非再生性資源の使用量削減						2.4	0.60		-	2.4
2.1 材料使用量の削減		B				2.0	0.10		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		B				3.0	0.20		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		B				3.0	0.20		-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		B				1.0	0.20		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		B				2.0	0.10		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		B				3.0	0.20		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避						3.0	0.20		-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用						3.0	0.30		-	
3.2 フロン・ハロンの回避						3.0	0.70		-	
1 消火剤		B				4.0	0.50		-	
2 発泡剤(断熱材等)		B				2.0	0.50		-	
3 冷媒		B				-	-		-	
<b>LR3 敷地外環境</b>						-	0.30	-	-	2.6
1 地球温暖化への配慮		B				3.6	0.33		-	3.6
2 地域環境への配慮						2.3	0.33		-	2.3
2.1 大気汚染防止		B				3.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善		B	C	D		2.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制						2.3	0.25		-	
1 雨水排水負荷低減		B				-	-		-	
2 汚水処理負荷抑制						3.0	0.33		-	
3 交通負荷抑制						3.0	0.33		-	
4 廃棄物処理負荷抑制		B		D		1.0	0.33		-	
3 周辺環境への配慮						2.1	0.33		-	2.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止						3.0	0.40		-	
1 騒音						3.0	0.33		-	
2 振動						3.0	0.33		-	
3 悪臭						3.0	0.33		-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制						1.6	0.40		-	
1 風害の抑制						1.0	0.70		-	
2 砂塵の抑制						-	-		-	
3 日照阻害の抑制						3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制						1.6	0.20		-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策						1.0	0.70		-	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策						3.0	0.30		-	